

平成26年5月1日
一般財団法人 総合科学研究機構
理事長 西谷 隆義

東海事業センター長の決定について（公知）

CROSS 関係機関及び関係者の皆様には、当機構の運営につきまして、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

お陰様で、一般財団法人総合科学研究機構(CROSS)は、特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律(共用法)に基づき、登録施設利用促進機関として、4年目を向かえることとなりました。

この度、東海事業センター長の選考については、透明性、公平性等を高めるため広く公募を行い、理事会の下に設置した「東海事業センター長選考委員会」において選考が行われました。

その選考結果がCROSS理事長宛てに答申され、CROSS常任理事会において、下記の通り新東海事業センター長が決定されましたので、公知します。

記

1. 選考経過

平成26年3月1日から平成26年4月18日まで行った公募に対し、2名の応募者があり、平成26年4月25日に開催された選考委員会において、応募書類(経歴書、抱負等)による書類審査及び、ヒヤリング(業績・抱負、質疑)による審査を実施し、審議の結果がCROSS理事長に答申されました。これを受け、CROSS常任理事会において、横溝英明氏を平成26年6月1日付で、新東海事業センター長とすることを決定しました。

2. 新センター長の決定

氏名	年齢	前職
横溝 英明	65歳	独立行政法人 日本原子力研究開発機構特別顧問

3. 決定理由

JAEAの研究者として、組織の運営、リーダーシップを発揮し、経営面においても、幅広い職歴と経験を有している。J-PARCの建設にも関与し、中性子科学分野にも精通し、東海地区との関係をはじめ、他の研究機関や行政との円滑な連携協力の実績を有している。特に、利用促進業務の将来については、利用者拡大や研究交流の必要性などに関心を持ち、CROSSの運営に関しては、研究成果の創出、人材育成など、業務の推進、経営全般に関し、強い意欲と熱意を備えている。

(備考) 東海事業センター長選考委員会委員の構成は以下のとおり。

(1) 中性子科学分野関係者	3名
(2) 学術関係者	2名
(3) 地方自治体等行政関係者	1名
(4) 産業界代表者	1名
	計7名